

| | | | |
|---------|----------------|-----|------------|
| 整理番号 | オイルキャッチングシートCF | 作成日 | 2013年1月29日 |
| 4135-01 | 横浜油脂工業株式会社 | 改定日 | 2015年12月8日 |

Ver. 11.05

安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

| | |
|--------------|----------------|
| 製品名 | オイルキャッチングシートCF |
| 製品コード | 4135 |
| 会社名 | 横浜油脂工業株式会社 |
| 住所 | 横浜市西区南浅間町 1-1 |
| 担当部門 | 技術開発部 |
| 担当者 | 横山 悟 |
| 電話番号 | 045-311-4701 |
| FAX番号 | 0463-89-1330 |
| 緊急連絡の電話番号 | 045-311-4704 |
| 奨励用途及び使用上の制限 | 油の吸着用 |
| 作成日 | 2013年1月29日 |
| 改正日 | 2015年12月8日 |
| 整理番号 | 4135-01 |

2. 危険有害性の要約

GHS分類

GHS分類非該当

GHS非該当物質

3. 組成、成分情報

- 化学物質 ・ 混合物の区別
 ・ 単一物質

| 成分名/化学名 | 含有量 (wt%) | CAS No. | 化審法 |
|-----------|--------------|---------|-----|
| ポリプロピレン繊維 | 100 | 非公開 | 非公開 |

PRTR法報告物質

非該当 該当物質は含有しない。

毒物及び劇物取締法

非該当 該当物質は含有しない

労働安全衛生法

通知物質 : 法第57条の2、施行令18条の2別表第9 名称等を通知すべき有害物質

非該当 該当物質を指定量以上含有しない。

有機溶剤中毒予防規則

非該当 該当物質は含有しない。

| | | | |
|---------|----------------|-----|------------|
| 整理番号 | オイルキャッチングシートCF | 作成日 | 2013年1月29日 |
| 4135-01 | 横浜油脂工業株式会社 | 改定日 | 2015年12月8日 |

Ver. 11.05

4. 応急処置

大量に吸入した場合

- ・毒性はほとんどないが、気分が悪くなったりした場合は、下記のような処置を行う。
- ・吸入をして気分が悪くなった場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・気分の戻らない時は、医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合

- ・毒性・刺激性はほとんどないが、異常がある場合は、下記のような処置を行う。
- ・直ちに水でよく洗うこと。
- ・衣服等に付着した場合は脱いで、皮膚に付着した部分を水でよく洗うこと。

目に入った場合

- ・直ちに清浄な水で15分以上洗眼する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、洗浄すること。
- ・眼の刺激が続く場合は医師の手当てを受けること。

飲み込んだ場合

- ・直ちに水で口の中を洗浄する。
- ・異常がある場合には医師の診断を受けること。
- ・無理に吐かせないこと。
- ・子供などが飲み込んだ懸念がある場合、直ちに医師の診断を受けること。

最も重要な兆候及び症状

- ・特になし

応急措置をする者の保護

- ・特になし

医師に対する特別注意事項

- ・特になし

5. 火災時の措置

消火剤

- ・泡消化剤、炭酸ガス、ドライケミカル

特有の消火方法

- ・消火作業は、可能な限り風上から行なう。
- ・関係者以外は安全な場所に退去させる。
- ・周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
- ・火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。
- ・周囲の設備などの輻射熱による温度上昇を防止するため、水スプレーにより周辺を冷却する。
- ・消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。

| | | | |
|---------|----------------|-----|------------|
| 整理番号 | オイルキャッチングシートCF | 作成日 | 2013年1月29日 |
| 4135-01 | 横浜油脂工業株式会社 | 改定日 | 2015年12月8日 |

Ver. 11. 05

消火を行う者の保護

- ・消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。
- ・消火活動は風上から行い、有毒なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- ・屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
- ・漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用すること。
- ・漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する
- ・作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。
- ・風上から作業し、風下の人を退避させる。
- ・着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。
- ・こぼれた場所はすべりやすいために注意する。

環境に対する注意事項

- ・流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
- ・大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。
- ・飛散したものを集めて空容器に回収する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

回収、中和

- ・少量の場合は、電気掃除機、ほうき等で掃き集める。火花を発生しない安全な用具を使用して、密閉できる容器に回収する。
- ・付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置する。

二次災害の防止法

- ・漏出時は事故の未然防止および拡大防止を図る目的で、速やかに関係機関に通報する。
- ・付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する
- ・火花を発生しない安全な用具を使用する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

- ・製品記載の使用上の注意を良く読み、用途以外に使用しないこと。
- ・熱・火花・裸火・高温のもののような着火源から遠ざけること。

| | | | |
|---------|----------------|-----|------------|
| 整理番号 | オイルキャッチングシートCF | 作成日 | 2013年1月29日 |
| 4135-01 | 横浜油脂工業株式会社 | 改定日 | 2015年12月8日 |

Ver. 11.05

保管

安全な保管条件

- ・ 製品記載の保管条件を読み、適切に保管すること。
- ・ 日光から遮断し、40℃を超える温度に暴露しないこと。
- ・ 熱/火花/裸火/高温のもののような着火原から遠ざけること。

安全な容器包装材料

- ・ 特になし

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

- ・ 蒸気または煙やミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。

記載の無いもの、また「-」は、知見なし、あるいはデータなし

| 成分名/化学名 | 管理濃度 | 許容濃度 |
|-----------|------|------|
| ポリプロピレン繊維 | - | - |

保護具

呼吸器の保護具

- ・ 必要に応じて保護マスク等を着用する。

手の保護具

- ・ 必要に応じて保護手袋を着用する。

目の保護具

- ・ 必要に応じて保護眼鏡を着用する。

皮膚及び身体の保護具

- ・ 必要に応じて保護衣、保護前掛け等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|-------------|---------------|
| 外観 | : 白色綿状 (シート状) |
| 臭い | : なし |
| 臭いのしきい値 | : データなし |
| pH | : なし |
| 融点/凝固点 | : データなし |
| 沸点、初留点と沸騰範囲 | : データなし |
| 引火点 | : データなし |
| 自然発火温度(発火点) | : データなし |
| 燃焼性 (固体、気体) | : データなし |

| | | | |
|---------|----------------|-----|------------|
| 整理番号 | オイルキャッチングシートCF | 作成日 | 2013年1月29日 |
| 4135-01 | 横浜油脂工業株式会社 | 改定日 | 2015年12月8日 |

Ver. 11.05

| | |
|---------------|---------|
| 燃焼又は爆発範囲下限、上限 | : データなし |
| 蒸気圧 | : データなし |
| 蒸気密度 | : データなし |
| 蒸発速度 | : データなし |
| 比重 | データなし |
| 溶解性 | : データなし |
| オクタノール/水分配係数 | : データなし |
| 分解温度 | : データなし |
| 粘度 (粘性率) | : なし |
| その他のデータ | : なし |

10. 安定性及び反応性

反応性

化学的安定性

- ・ 通常の取扱いにおいては安定である。

危険有害反応性の可能性

- ・ 燃焼により刺激性のガスを生成する。

避けるべき条件

- ・ 加熱・熱源・裸火

混触危険性物質

強酸

危険有害な分解生成物

- ・ 特になし

その他

- ・ 特になし

11. 有害性情報

- ・ データなし

12. 環境影響情報

- ・ 著しい性状の変化は認められない。

オゾン層への有害性 : データなし

| | | | |
|---------|----------------|-----|------------|
| 整理番号 | オイルキャッチングシートCF | 作成日 | 2013年1月29日 |
| 4135-01 | 横浜油脂工業株式会社 | 改定日 | 2015年12月8日 |

Ver. 11.05

13. 廃棄上の注意

- ・内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

14. 輸送上の注意

国際規制：

国連分類

該当しない

国連番号

該当しない

容器等級： 該当しない

海洋汚染物質： 非該当

国内規制：

容器イエローラベル

該当しない

輸送の特定の安全対策及び条件

- ・「火気注意」
- ・容器の破損、漏れがないことをたしかめる。
- ・荷くずれ防止を確実に行う。
- ・該当法令に従い、包装、表示、輸送を行う。
- ・直射日光を避ける。
- ・水漏れ厳禁。
- ・横積み厳禁。
- ・夏場の輸送時には、熱い鉄板、地面等の上に直接置かないこと。
- ・輸送容器は衝撃を与えないように、ていねいに取扱う。転倒したり、激突させたりしない。

15. 適用法令

火薬類取締法：

対象外

高圧ガス保安法：

対象外

消防法： () 内は、指定数量

非危険物(消防法上の非危険物)

非危険物であるが可燃物である

毒物及び劇物取締法(毒劇物取締法)：

非該当(該当物質は含有しない、詳細は 3. 組成、成分情報を参照)

労働安全衛生法：

表示対象物質を含有しない。(詳細は 3. 組成、成分情報を参照)

労働安全衛生法(有機溶剤中毒予防規則)：

非該当 該当成分を含有しない。(詳細は 3. 組成、成分情報を参照)

| | | | |
|---------|----------------|-----|------------|
| 整理番号 | オイルキャッチングシートCF | 作成日 | 2013年1月29日 |
| 4135-01 | 横浜油脂工業株式会社 | 改定日 | 2015年12月8日 |

Ver. 11.05

労働安全衛生法（危険物）：

非該当

特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法（PRTR法）：

非該当 該当物質は含有しない。（詳細は 3. 組成、成分情報を参照）

16. その他の情報（参考文献等）

GHSに基づく化学物質等の分類方法 JIS Z7252:2009

GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)
JIS Z7253:2012

GHS分類結果データベース（独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ）

中央労働災害防止協会安全衛生情報センターホームページ

JACA（日本オートケミカル工業会）編集：化学物質管理データベース

オートケミカル製品のための製品安全データシート作成指針改訂版（日本オートケミカル工業会）

危険物船舶運送及び貯蔵規則（海文堂）

※注意

安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取り扱う事業者を提供されるものです。取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取り扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。